

校長のつぶやきⅡ

校長室便り 第3号

令和2年4月9日 山内

〇入学式 ー入学生代表宣誓（要旨）ー



〔校長室で放送による宣誓〕

先生方、先輩方これからたくさんお世話になります。また、将来へ向かって行く途中に間違っただけの方向へ進んでしまおうとすることがあるかもしれません。その時は優しく、時に厳しくご指導していただけたらうれしいです。

この三年間の中で、新たに出会った仲間と良い関係を築き、自分の将来と向き合い、確かな夢の先へ羽ばたいて行けるよう努力することをここに誓います。

令和二年四月八日 新入学生代表 三浦 明音

体育館で生徒と保護者の皆様一緒の式ではありませんでしたが、今我々岩高が出来うる最大限の努力をさせていただきます。各教室での呼名は、別教室で待機されていた保護者の皆様にライブ映像でお届けしました。途中何度か動画が止まりかけた時もありましたが、72名分全員をお届けできたと思います。

新入学生代表の宣誓をしてくれた三浦さんは本当に立派でした。入学式の日校長室で電話の受話器を使っただけの宣誓書の朗読は大変だったと思います。でも、内容といい、読み方といい本当に素晴らしい宣誓でした。

式も無事に終わり、夕方4時頃学年主任の小野寺定太が校長室に挨拶に来てくれました。定太先生はこの3月に卒業生を出したばかり、初めての学年主任です。ただでさえ新入生の学年主任は大変な仕事なのに、今回は新型コロナウイルスのことで入学式の対応も二転三転しました。それでも定太先生は愚痴一つ言わず、「72名のためにありがとうございます」と多方面との調整に奔走してくれました。今日一日の仕事ぶりを見ても定太先生に学年主任をお願いして間違いなかったと確信しました。と同時に十五年ほど前の自分自身のことを思い出しました。教師として最後の三年間は、学年主任でした。40歳そこそこの学年主任に担任の方々はほとんど自分より年上の大ベテランの方々。頼りない主任の言うことなど聞くわけありません。苦勞しました。三年間主任を終えた卒業式の最後に、281名の卒業生から「お疲れ様でした」とスポーツ時計をもらいました。ベテラン団との格闘を見せないようにしていたのですが、生徒はしっかり分かっていたのです。その時の時計は日付が変わるまで働く職場に転職した時も私を勇気づけ、守ってくれました。十分ではなくとも、今回の心のこもった入学式は新入生にも保護者の方々にもきっと届いたと思います。



〔呼名の様子をライブ中継〕

ではこれで今回のつぶやきはお終いです。4月15日に再登校できるといいのですが。

おめでとう 自分の時を 思い出し 入学式に 感慨無量